日本生物多様性情報イニシアチブ
Japan Initiative for Biodiversity Information

JBIFは、GBIFに関する日本国内での活動を実施する組織です。日本国内の生物多様性に関するデータの活用を促進するとともに、GBIFを通じて世界へ発信することを目的として活動しており、生物多様性情報分野における国内での普及活動にも取り組んでいます。

JBIFは、2007年より文部科学省（2015年度から2020年度までは日本医療研究開発機構）によるナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）「情報センター整備プログラム」の一課題として構築・運用されています。現在は、国立遺伝学研究所、国立環境研究所および国立科学博物館の3機関が連携して事業を実施しています。

日本は発足当初からGBIFに正式参加しており、JBIFは「GBIF日本ノード」として国内活動を担ってきました。しかし、2021年に日本のGBIFへの参加形態がオブザーバへ変更されたことに伴い、「日本生物多様性情報イニシアチブ（JBIF）」へ名称を変更し、現在も活動を継続しています。

GBIF関係の資料の一部の和訳を公開しています

GBIFデータを日本語で検索できます

GBIFに関する資料がまとめられています

学名の表記ゆれを確認することができます

・**ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）**：ライフサイエンス研究の基盤となる動物、植物、微生物、細胞、遺伝子材料などの生物資源を、体系的に収集・保存・提供することを目的とした文部科学省のプロジェクト。
・**オブザーバ：**GBIFの活動に関心を持ち、活動の状況を継続的に把握する国や組織に認められる立場。GBIFの運営には携われない。